

題：現代社会での適者生存

名前：

私は、情報化の進む現代においては、もはや新聞・雑誌といった紙面の情報源は不要となるだろう、と考える。

確かに、紙面を利用するメリットは様々な所で声高に叫ばれており、辞書がそのいい例である。選択された情報のみが目に入るような電子辞書よりも、選択した情報以外も目に入ってくる紙の辞書の、勉強への貢献度を指摘する意見である。

しかし私は、とりわけ、辞書ではない新聞や雑誌といった、世に日々生成消滅する事案を扱う情報源においては、情報化のすすんだ現在、もはやインターネットという媒体を利用することが必要不可欠となるのではないかと考える。

第一に、情報化社会を生き抜くには、あふれかえる膨大な情報をいかに取捨選択するか、ということがカギになるであろうから、膨大な情報を蓄積可能でありながら、ボタン一つで効率よく情報を取捨選択できるインター

ネットは、時代に適した産物といえよう。現代においては、見たい記事の隣の記事にまで手を広げよ式の紙面の情報源は、逆に現代人の効率性を妨げてしまうのではないかと。

第二に、持ち運びの楽さが挙げられる。紙面の情報は、たまればたまる程、その量が物理的に増加していくが、インターネットであれば、いくら情報量が増えようとも物理的な量の変化はない。大量の情報を扱う現代においては、最適な情報の容れ物である、といえよう。

第三に、環境に優しい、ということだ。私は夏に企業で事務のバイトをしていたが、新聞記事をまとめた冊子を社員の方々に配る際、紙の使用量を減らすためにインターネットを利用して配布していた。インターネットで示される情報は、紙などの資源を使わないため、環境問題に苦しむ現代においては地球に優しい媒体である。

以上のことから、インターネットこそが、

1800字

現代という時代に適した媒体であり、適者生存の原則にのっとり、生き残ってゆけるものである、と私は思う。